みんなの文芸

俳句・短歌を募集
4日必着
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 榎本順江 選　投稿数 17 句

百穴の御霊の聲を聴く枯野　皆野　櫻井　早苗

(評)吉見の百穴(古墳時代末期に作られた集団墓地。穴の数は二百三十以上ある。)百穴の歴史をよく理解しているのが中七から解ります。それ故、枯野にたたずむ作者には百穴からの声無き声が届いたのです。聲、聴くの文字が昔を引き寄せ巧です。二句目、病院のベッドで、目に入る物はつるされた点滴の容器だけ、不安な心に一滴ずつが無音のリズムで応援です。外は厳しい寒さ、明日は点滴が終わりますように。三句目、残りの毛糸がたくさん溜まり、色合いや模様を想像しながら毛糸を合わせて見る。残った毛糸から楽しい時間を貰い、素敵な物が出来上がりそうですね。

点滴の音無きリズム冴ゆる夜　皆野　太幡琉美花
柿吊るす九十余歳の根気かな　三沢　新井　叶子
残り毛糸組ませて描く編み上がり　皆野　引間　千鶴
嫁ぎ来て五十九年の冬仕度　下田野　新井　節子
生まれ来し孫よ小雪の陽のやわら　皆野　小菅恭青史
声弾み幼に戻る蜜柑狩り　皆野　根岸　詩子
山吹や渓に一輪返り花　皆野　村田ハツ代
山峡に今日はキツネのお嫁入り　皆野　萩原　初恵
ひよどりの金切り声や寒さ急　三沢　眞下　杏子
植えし日の夫の面影花八手　下日野沢　浅見　豊子

短　歌（投稿順）

生きるのがかくも苦しいものならばいっそこの先なお生きてやれ　皆野　石原　達也
武甲山戦後復興激動期身を削りつつ祖国の為に　皆野　戸塚喜久雄
猪に荒らされし葱植え直すわれを和ます児童の放送　三沢　眞下　杏子
沸騰の夏もようやく過ぎたのに早も冬来て強い寒気に　皆野　根岸　詩子
「富士山は登る山より見る山」と登った事の無い人ほど言う　皆野　大澤　貴夫
テレ東のテレビ見てれば秩父線皆野の街の人々が出る　上日野沢　四方田利男
小菊咲く赤白黄色三色を色良く束ねガラスの花瓶に　下田野　新井　節子
青き空飛行機雲が真っ直ぐに西の空えと夢を乗せゆく　皆野　村田ハツ代
金色に舞い散る落葉美の山の午後の陽ざしの散歩道　皆野　萩原　初恵
生かされて八十九歳の誕生日祝い頂き感謝の尽きず　下日野沢　浅見　豊子
晩ごはん作りし画像女孫より我苦ししてラインで送る　国神　藤原マキ子
若き日に和裁内職せし頃の腕を忘れじ袢纏を縫ふ　三沢　新井　叶子
「君」「ちゃん」と歳月戻る同窓会生きてこそ会ふ至福のひと日　三沢　新井　民子
霜月の長瀞駅で乗り継げば吊り革握り紅葉を見る　皆野　打木　昭廣
卒寿の師玄関先に菜・大根洗ひ置きして持たせてくるる　皆野　引間　万亀

「広報みなの」有料広告募集

180㎜
2号（縦50㎜×横180㎜）10,000円
1号（縦50㎜×横90㎜）5,000円
50㎜

毎月4,000部発行され、各世帯に配付されます。
ぜひご活用ください。

申込み　企画財政課（⑪番窓口）　☎26-7334